

『しまの宝』

第18号 R2.12.22 発行

文責：校長 日高 洋子

2学期の終わりに…

今年は、新型コロナウイルス感染症からスタートし、子ども達の活動が思うようにいきませんでした。しかし、地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご協力で、無事に年越しが迎えられそうです。ありがとうございました。2020年、学校では「敢為の精神」のもと、子ども達がいろいろな事に挑戦しました。できないと思っていることでも、保護者、地域の皆様、職員のサポートで「挑戦すること」からの達成感や、充実感を何度も味わうことができました。今まで体験したことがないことが、自分を大きく成長させるのだということを実体験できています。小さなことでも積み重ねることで、さらにこれまでにない世界を見ることができると思います。

来年はどんな年になるのか想像もつきませんが、「良い年にするぞ!」という意気込みで、新学期の準備をしたいと思います。しま留学の児童生徒は冬休み中にそれぞれ実親さんの元へ帰省をします。新しい生活様式をしっかりと守れるように指導を徹底し、久賀に安心して戻って来られるようにしますので、温かく見守っていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

子ども県展特選入賞

5年生の永田蒼士さんの版画が長崎県子ども県展で特選に選ばれました。小学生がそれぞれに絵画や版画で力強い作品を提出していましたが、版画の人物の動き、リコーダーの音色を虹色で表す色合いが大変素晴らしく、今回の特選入賞になりました。

1月26日
(火)から1
月31日(日)
まで、長崎県
立美術館でも
総合展として
展示される予
定です。



中学生英語科 パフォーマンステスト

12月7日(月)中学生の英語科の授業の一環でパフォーマンステストが行われました。英語の授業で習得した単語、文法を使って自分が紹介したいことや好きなことなどを聞く人に伝えることができるかのテストです。1・2年生合同で行われました。職員室にいた職員が見守る中、1年生は数学科の田中先生について、どんな先生であるかを事前にインタビューを行い、楽しくみんなに紹介しました。生徒が最も信頼し大好きな田中先生の知られざる一面がよくわかり、楽しい発表でした。



2年生は自分が面白いと思うことや尊敬する人のこと、自分が興味を持っているものなど、多様なテーマで紹介をしてくれました。パフォーマンステストなので、表情や、発音、言い回しなど、いくつかの項目をALTのダン先生が審査してくれました。毎月実施している、キャッチEの取り組みの成果がこんな所でも発揮できていると思いました。英語を身近に感じ、親しみをもっているのだと思います。どの生徒もびっくりするほどうまくて、今後、長文の英語のスピーチができるように繋がるといいなと思っています。英語に興味を持ち、英語を好きになってくれていることもわかって、大変、嬉しい時間でした。

人権週間の中で

12月4日から12月10日は人権週間でした。世界でもこの週間はいろいろな人権について催し物が多くありますが、本校では12月10日に人権集会を開きました。小学生は「はなのすきなうし」という絵本の朗読をしてくれました。主人公のフェルジナンドの生き方を通して、個性を大事にしてお互いを認めていくという内容でした。5人の声がよくとおって、内容がずっと入り、気持ちが豊かになる時間を作ってくれました。

中学生はSDGsの学習を経て、コロナ差別や偏見に向き合い、人権標語を作成しました。

SDGsの世界中で取り組むべき17の目標について学んだことで、広く世界の状況を把握し、人権を自分の身近なことに近づけて考えられたことに、感心しました。大人も人権感覚を磨く、良い時間になりました。

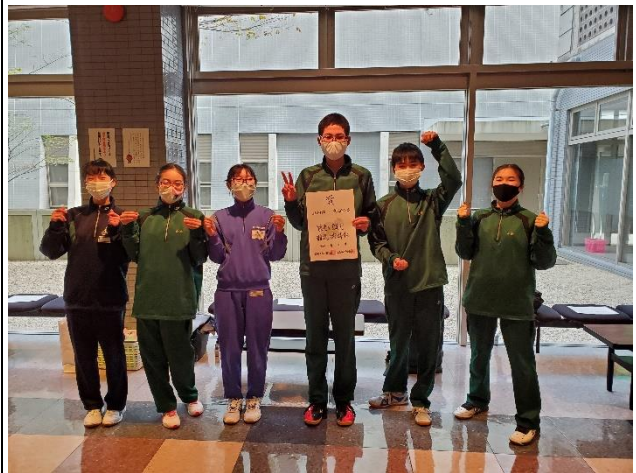


中学校卓球新人大会

12月12日(土)は五島市中学校卓球競技新人大会でした。中学生6名全員が、福江中学校と対戦しました。団体戦は女子のみ実施され、福江中学校との一騎打ちでした。勝つことはできませんでしたが、シングルスの方紗菜さんは個人戦で優勝した福江中学校の選手にフルセットの末、勝利し大いに自信になりました。

男子の個人戦は対戦校がないため、久賀中学校同士の対戦になりました。壽之亮さんと優樹さんは毎日練習をしている仲間なので、手の内をお互いに知り尽くしています。接戦の結果、今回は壽之亮さんが勝利しました。

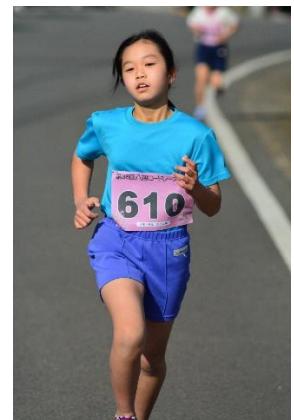
中学生は来年の5月に開催される予定の五島市中総体に向けて、また新たに再スタートを切り、部活動に励みます。ぜひ、全員が納得のいく試合ができるよう頑張ってください。



壽之亮さんの賞状を囲んで、次の目標を心に誓いました！

八朔ロードレース

中学生の新人大会の翌日、小学生が岐宿で行われた八朔ロードレースに出場しました。この日のために朝から練習を頑張りました。一人ひとりに目標を決めて、この日を迎えました。思っていたより出場選手が多く、ちょっと緊張気味の5人でしたが、足の故障で走れなかった琉嘉さんが他の4人を元気づけて、5人で頑張りました。



最後まで諦めずに走る姿に、沿道の応援者からたくさんの拍手をいただきました。雨が心配されていた大会でしたが、よく晴れて、走っている子ども達の額には汗が光っていました。次の目標は1月に行われる富江ブルーラインマラソンです。寒い時期のレースになりますので体調に注意して頑張ってください。